

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

政策名	物流・産業	27年度事業・施策評価結果			責任者	企画調整室 港湾運営企画担当課長	
施策名	国際・国内海上輸送機能の強化	成果	コスト				
事務事業名	コンテナターミナル管理運営体制の見直し	継続	拡大	維持	連絡先 連携課	052-654-7969	
目的	対象(誰・何を)	名古屋港のコンテナターミナル				事業 期間	～平成29年度
	意図(どうい う状態にしたいか)	管理運営を効率化します。					
概要	名古屋港のコンテナターミナルの管理運営の効率化を図るため、港湾運営会社制度の導入を行い、管理運営体制の見直しを行うとともに、伊勢湾で一つの港湾運営会社による一体的運営に向けた検討を行います。				根拠 法令等	港湾法、会社法	
28年度の実施予定	名古屋港及び四日市港は、両港の特例港湾運営会社の特性を踏まえ、平成29年が期限となる伊勢湾で一つの港湾運営会社の実現に向けて、関係者との打ち合わせを実施します。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
					関連 シート		

2 DO(実施)

28年度に実施した内容・結果	名古屋港及び四日市港の特性を踏まえ、関係者と打合せを行い、平成29年9月が期限となる伊勢湾で一つの港湾運営会社の指定に向けた新会社を設立することにしました。					
コスト	単位	26年度	27年度	28年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	27,972	0	0	9,324	港湾運営会社制度への対応に関する委託業務が平成26年度で終了したため、事業費が減少しています。
人件費	千円	10,571	21,406	21,502	17,826	
合計	千円	38,543	21,406	21,502	27,150	

3 CHECK(検証)

指標名		26年度	27年度	28年度	最終目標	29	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
伊勢湾における港湾運営会社の業務開始に向けた検討会議の回数(全8回) (進行管理型)	目標	1	4	6	8(累計)	/	伊勢湾における港湾運営会社の業務開始に向けた検討会議の回数として、四日市港関係者との実務者会議の回数を設定	
	実績	1	4	7				
	事業進捗状況(28年度)			順調・やや遅れ・遅れ				
指標名		26年度	27年度	28年度	最終目標	26	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
名古屋港における港湾運営会社制度の活用の方針検討 (単年度管理型)	目標	-	/	/	-	/	コンテナターミナル運営民営化協議会(～平成26年度)	
	実績	4	/	/				
	事業進捗状況(28年度)			-				
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	伊勢湾で一つの港湾運営会社の設立に向けて、順調に進捗しています。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○ 港湾法改正に対応し、利用者の利便性向上を目指す事務事業として、港湾管理者である名古屋港管理組合が関与し、進めていく必要があります。						
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○ 名古屋港のコンテナターミナルの管理運営を効率化することは、上位施策である「国際・国内海上輸送機能の強化」につながると考えております。						
	期待どおりの成果が得られているか?	○						
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 事務の実施は、最小限の人員体制で行っております。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	29年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
	継続	拡大	
	継続	拡大	名古屋港及び四日市港は、両港の特性を踏まえ、平成29年9月が期限となる伊勢湾で一つの港湾運営会社の指定に向けた新会社の設立のため、関係者と十分な検討を一層進めていく必要があるため。 【重点化】
課題		29年度以降の取組	
平成29年9月が期限となる伊勢湾で一つの港湾運営会社の指定に向けた新会社を設立する必要があります。		名古屋港及び四日市港の特性を踏まえ、伊勢湾で一つの港湾運営会社の指定に向けた新会社の設立のため、関係者と調整を進めていきます。	